

明日をにんう子のために

第76号 令和6年12月 上三川町教育委員会

人権が尊重される社会の実現に向けて、
町内の小中学校で、このような授業をしています

小学校の学級活動（5年生）の授業で、児童が人権に関わる内容をどのように学習しているのかを紹介します。

◇本郷北小学校での取り組み（5年生）学級活動

- 情報機器やインターネットを使って情報を送受するときに、気を付けることを考えよう。
- 相手の立場や気持ちを意識した適切な情報機器の使い方を考えよう。

児童たちは、スマートフォンやタブレット端末を利用しており、生活の中でインターネットやSNSの利用が身近なものとなってきています。これから、デジタル社会を生きていく児童たちを被害者・加害者にならないためにも、相手が直接見えなくても相手を感じ、尊重する心を育てることが大切です。

この授業では、インターネット上のトラブルの事例から、インターネットによる人権侵害の現状を知り、トラブルの原因と解決策を考えました。さらにそれを踏まえて、模擬メッセージを作成しました。

☆児童たちの様子☆



児童たちは、ネットトラブルの事例から、送る側と受け取る側の言葉の受け取り方のちがいや、どうすれば未然防止ができるのか真剣に考えていました。また、自分だったらどんなメッセージを送るか体験し、自分事として考えていました。児童たちからは、「SNSを使うときは、相手の立場になって考える。そうしないと、相手を気づかないうちに傷つけてしまうかもしれない。」「言葉選びや相手の気持ちを考えることが大切。」などの意見が出ました。

国際連合は、1950年第5回総会で世界人権宣言成立の日の12月10日を「人権デー」と決めました。わが国でも、これを受けて毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」として、広く人権意識の高揚を呼びかけています。

人権尊重の社会を実現していくために、わたしたち一人一人が人権尊重の理念について正しく理解をし、実践に役立てていくことが大切です。ぜひ、この機会に、ご家庭でも話し合いをしてみたいはいかがでしょうか。

12月4日～10日は『人権週間』です。

男女共同参画社会とは？

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。（男女共同参画社会基本法第2条）

男女共同参画に関する町民意識調査によると、各分野における男女の平等感に係る問いで「学校教育」を平等と回答した割合が55.5%と最も高くなっている事が分かります。反面、社会全体について平等と答えた方は14.7%のみであり、男性優遇またはどちらかという男性優遇と答えた方は72.9%に及び、社会全体における不平等感がいまだ強いことがわかります。（「第3次上三川町男女共同参画計画」（令和5年度～令和9年度））

アンコンシャス・バイアス

こんな考えはありませんか？

～家庭編～

- ☐ 家事・育児は女性がするべきだ。
- ☐ 実の親・義理の親に関わらず親の介護は女性がするべきだ。
- ☐ 男性は、結婚して家庭をもって一人前だ。
- ☐ 男性は、仕事をして家庭を支えるべきだ。
- ☐ 共働きでも、男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ。

～教育編～

- ☐ 女性には、高い学歴やキャリアは必要ない。
- ☐ 女性は理系の進路（学校・職業）には向いてない。

～その他～

- ☐ 女性は感情的になりやすい。
- ☐ 男性は人前で泣くべきではない。
- ☐ 女性には女性らしい感性があるものだ。 等

※ほんの一例です。アンコンシャス・バイアスは日常や学校、職場にあふれています。

アンコンシャス・バイアスとは、無意識の思い込みのことで、自分自身は気づいていない「ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」をいいます。自分自身では意識しづらく、ゆがみや偏りがあるとは認識していないため、「無意識の偏見」と呼ばれます。

対処法① 決めつけない、押しつけない

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には、「普通そうだ」「こうあるべきだ」「どうせムリだ」といった、決めつけや押しつけが挙げられます。頭ごなしに決めつけないこと、ひとりひとりと対話をしてみることで、相手を尊重する心の姿勢を持つことがカギを握ります。

対処法② 相手の表情や態度の変化など「サイン」に注目する

相手の心のあと味が、サインとなってあらわれます。「急に表情が曇った」「声のトーンが変わった」といったサインに気づいたなら、「私のアンコンシャス・バイアスによる言動が、相手の心のあと味を濁したかも？」と、ぜひ立ち止まってみてください。違和感をそのままにせず、フォローを心掛けてみてください。

対処法③ 自己認知

アンコンシャス・バイアスの正体は「自己防衛心」です。脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。自然の摂理であり、完全に払しょくすることはできません。だから、大切なことは、アンコンシャス・バイアスに気づこうと、ひとりひとりが意識することです。

出典 内閣府 男女共同参画局

「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）～事例集～」令和3（2021）年12月

広報誌「共同参画」令和3（2021）年5月号

